

所属	農学生命科学部	氏名	君塚 道史
課題名	生鮮果実を対象とした長期冷蔵保存技術の開発		

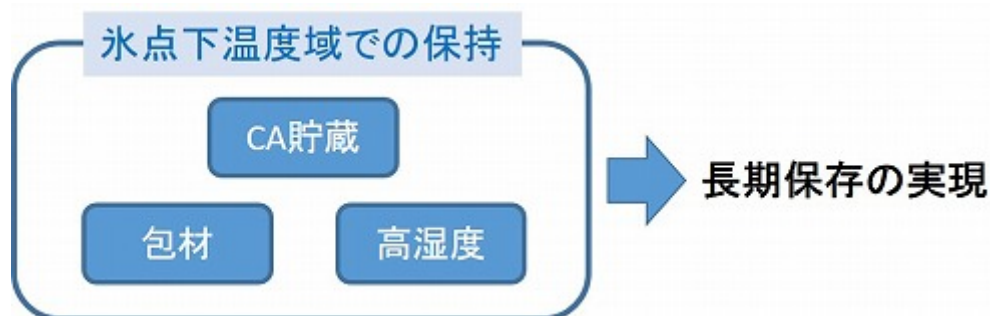
### 1. 概要

国では2020年までに農林水産物・食品の輸出額を合計で1兆円にする目標を掲げており、中でも青果物の輸出増加は強く望まれている分野と言えます。特に青森県ではリンゴの輸出がめざましく、ここ数年で台湾、香港をはじめとするアジア圏に年間3万トンが輸出されています。

一方でリンゴ以外の青果物については、例えばサクランボで新たな品種が開発されるなど、今後の主力産品として期待を集めていますが、現状ではリンゴやかんきつ類以外は長期保存方法が確立されておらず、輸出のみならず国内流通における出荷調整も難しい状況です。

そこで本研究では、これまでも青果物の保存で用いられているCA貯蔵（Controlled Atmosphere 貯蔵）、高湿度貯蔵（十分に加湿された雰囲気を作り青果物からの蒸散を抑える）に加え、保存温度域（氷点下温度域でありながら、未凍結状態を維持する）を合わせながら、可能な限り特殊な装置を用いる事なく、簡便で廉価に長期保存を実現すべく研究を行います。

また、これらの冷蔵保存条件だけではなく、それぞれの果実に特化した保存容器などの開発も視野に入れながら、総合的な保存技術の確立を目指します。



(1) 長期冷蔵保存技術の開発イメージ

### 2. 画像の説明

(1) 長期冷蔵保存技術の開発イメージ